

高松地区中学校新人体育大会サッカー競技要項

- 1 目的 本大会は、中学校教育の一環として、中学生に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツmanshipの高揚を図り、心身ともに健全な中学生を育成する。
- 2 主催 高松地区中学校長会
高松市教育委員会・三木町教育委員会・直島町教育委員会
高松地区中学校体育連盟
- 3 主管 高松地区中学校体育連盟サッカー競技部
- 4 期日 令和7年10月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12(日)・13日(月)
※予備日18日(土)
- 5 会場 りんくうスポーツ公園(4・5・11日)
東部運動公園人工芝(4・5・11・12・13日)
※予備日: 東部運動公園人工芝(18日)
- 6 参加資格 (1) 学校部活動においては、高松地区内の中学校1・2年生に在籍する生徒であること。各校1チームとする。
(2) 地域クラブ活動においては、高松地区中学校体育連盟が定めている「高松地区中学校体育連盟主催大会への地域クラブ活動の参加規程」を遵守している団体であること。
- 7 競技役員
競技役員長 北堀 宏 佐光 隆
競技副委員長 熊田明彦 末永卓治
審判長 井上聰太
審判員 萱野大樹 滝 元弥 津山修一 西谷法周 野島 陸 宮崎和穂
山下敏也 夏田英司 吉田達哉 山下玄太 吉井大生 末安 謙
岩崎裕信 太田浩嗣 田中雄作 山根孝之 富田武志 本間祐孝
勝岡茂隆 宮本佳樹 高橋優樹 細谷拓哉 日高碧紀 沖田淳也

記録・進行係
救護 飯間勝利 佐藤愛里(4日りんくう) 野中優希美(4日東部) 伊佐杏理(5日りんくう)
綾田美友(5日東部) 田中美貴(11日りんくう) 山下麻衣(11日東部)
青木早貴(12日東部) 佐藤愛里(13日東部) 田中美貴(18日東部)
- 8 競技規定
(1) 人員 ベンチ入りメンバーの人数は、1チーム監督1名、引率者1名、コーチ2名、選手18名以内とする。監督及び引率者は、出場チームの教職員またはスタッフとする。コーチについては、出場チームの教職員またはスタッフ、もしくは所属長が委嘱し、県中体連会長名で承認を得た外部指導者も可とする。なお、外部指導者は、競技中、コーチ証を携帯すること。
(2) 高松地区大会に関わる合同チーム編成規定による合同チームの参加を認める。
(3) 規定
① 試合は、トーナメント方式による。
② (財)日本サッカー協会制定の「2025-2026サッカー競技規則」による。
③ 試合時間は前後半60分、インターバル5分とする。勝敗が決しない場合は、PK方式にて勝敗を決する。ただし、準決勝からは10分間(5分ハーフ)の延長を行い、なお決しないときはPK方式により勝敗を決する。3位決定戦は行わない。
④ 選手交代は、1試合7名までとし、交代して退いた競技者は再び出場できない。また、交代要員の7名には常にベストの着用が義務づけられる。選手交代をする際は、「選手交代用紙」に必要事項を記入のうえ、第4の審判席に提出し、その指示に従うこと。
⑤ 今大会中、2度目の警告を受けた選手は、次の1試合に出場できない。また、退場の場合も次の1試合には出場できないが、退場理由によっては県協会規律フェアプレー委員会に諮り、複数試合の出場停止になる可能性もある。退場による出場停止は、原則として県大会に引き継がれる。それができない場合は、次の公式戦での出場停止となる。累積警告は県大会に引き継がない。
⑥ ユニフォームは、2色用意すること。本大会においては、シャツの裾を入れて、試合に出場することをチームで指導する。
⑦ ベンチは、トーナメント表左側のチームを本部からピッチに向かって左側とし、テクニカルエリアを設ける。
⑧ 試合前のピッチ内練習は、原則として試合開始前30分間のうちの10分間とする。

- ⑨ 交代選手の試合中のウォーミングアップについては、自チームベンチ横のエリア内で行い、ボールを使ってのウォーミングアップは禁止とする。
- ⑩ 各チームには、フィールド上に（キャプテンとして）識別できるアームバンドを着用したキャプテンがいなければならない。
- ⑪ ゴールキーパーが手や腕でボールをコントロールすることに対する8秒制限の残り5秒をカウントダウンするために主審は合図する。手や腕で8秒を超えてボールをコントロールしたゴールキーパーは罰せられ、相手チームにコーナーキック（ゴールキーパーが位置していた場所に近いサイドからのコーナーキック）が与えられる。
- ⑫ プレーが停止されたとき、ボールが
 - ・ペナルティーエリア内にあった場合—ボールは、ペナルティーエリア内で守備側チームのゴールキーパーにドロップされる。
 - ・ペナルティーエリア外にあった場合—ボールを保持していたチーム、または保持したであろうチームが主審にとって明らかであれば、ボールはそのチームの競技者の1人にドロップされる。もしそうでなければ、最後にボールに触れたチームの競技者の1人にボールはドロップされる。ボールはプレーが停止されたときにボールがあった位置にドロップされる。

9 熱中症対策

- (1) ピッチの周りに、選手1名につき1本ずつのボトルを置くことができる。ただし、感染症対策の観点から選手のボトルの共有は認めない。
- (2) 次のWBGT計数値を参考に「クーリングブレイク」か「飲水タイム」、又はその両方を設ける。本部とその試合の主審で協議し、前半は試合開始10分前までに、後半はハーフタイム中に行う。
 - ① WBGT計で、天然芝31℃以上、人工芝28℃以上の場合は、「クーリングブレイク」2回。
 - ② WBGT計で、天然芝28℃以上、人工芝25℃以上の場合は、「クーリングブレイク」
 - ③ WBGT計で、天然芝25℃以上、人工芝22℃以上の場合は、「飲水タイム」

【クーリングブレイク】

前後半それぞれの17分の時間前後で3分間の「クーリングブレイク」を設定し、選手と審判員は以下の行動をとる。

- ① 日陰のあるベンチに入り、休む。
- ② 水・アイスパック等を使い、身体を冷やし、必要に応じて着替えをする。
- ③ 水だけでなくスポーツドリンクを飲むことが好ましい。スポーツドリンクを飲む際は、芝にこぼさないように注意すること。

※クーリングブレイクの時間は試合時間に含まれない。戦術的な指示も可とする。

【飲水タイム】

前後半それぞれの半分の時間前後で1分間程度の「飲水タイム」を設ける。「飲水タイム」は飲水が目的であるため、フィールドから出ないようにして水分を補給するのみとし、水をかけたり氷で冷やしたり、戦術的な指示を出したりすることは認めない。

10 荒天時における対応

- (1) 荒天時における試合の中止については、本部から連絡を行う。また、再開の方法も同様とする。
- (2) 雷光・雷が鳴った場合には、速やかに活動を中止し、危険性がなくなると判断されるまで安全な場所に避難するなど、安全の確保を最優先事項とする。
- (3) 試合再開は、雷鳴・雷光がなくなって20分経過後とする。20分経過後も、危険性がある場合は「中止」とする。それ以降の対応は次の通りとする。
 - ① 前半の途中で中止になった場合は、最初から再試合を行う。
 - ② 後半のクーリングブレイク又は飲水タイムまでに中止になった場合は、中断時点からの再試合（スコア・出場選手・残り時間等中断時点のものとする）を行う。
- (4) 13日までに準決勝・決勝の試合の消化が出来ない場合は、予備日（18日）に準決勝・決勝を行う。その場合、準決勝1試合目を9：00、準決勝2試合目を11：00から行い、決勝を14：00から行う。
- (5) 試合の中止、再開、延期、日程の変更などは、大会本部が判断し、各チームに周知する。

11 表彰

1位に表彰状とカップ、2位・3位に表彰状

12 県大会出場権

ベスト8

13 参加申込

【学校からの申込】

- ・ 所定の申込用紙に必要事項を記入し、令和7年9月18日（木）までに、高松地区中学校体育連盟事務局（takamatsu-t-c@me.pikara.ne.jp）へメールで申し込むこと。
※必ず校内決裁したもの提出し、メールに申込書を添付する際は「PDF形式」にしてから添付すること。なお、ファイル名は、「学校番号+学校名+競技名（性別）」としてください。

【クラブチームからの申込】

- ・ 所定の申込用紙必要事項を記入し、令和7年9月18日（木）までに、高松地区中学校体育連盟事務局(takamatsu-t-c@me.pikara.ne.jp)へメールで申し込むこと。
メールに申込書を添付する際は、「PDF形式」にしてから添付すること。なお、ファイル名は、「クラブチーム名+競技名（性別）」としてください。
- ・ 試合ごとに18名のメンバーを登録することができる。申込書の背番号欄に背番号を記入し、先発メンバーの欄に○印を記入したものを、試合開始30分前までに、本部に提出する。
- ・ 再提出する場合には、所属長の承認を受けたものを自チームの大会1試合目までに本部に提出する。

14 運営委員研修会

令和7年9月11日（木）15時30分～高松市総合教育センター3階大研修室

15 その他

- ・ 本大会開催に伴う生徒の災害については、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の規定を適用する。ただし、地域クラブ活動から参加している選手については、チームが独自に加入している傷害保険を適用する。
- ・ 今大会の連絡先 高松市立勝賀中学校 (087)881-3141サッカー競技専門委員 飯間勝利